学校番号	１００１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 IA 標準演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新課程版[大学入試最頻出 39]ベーシックスタイル数学演習 I･A 受験編(数研出版))						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中の式や考え方も書くようにしましょう。問題が解けた後はすぐに答え合わせをしてください。分からないところはそのままにせず、友人や先輩、先生に質問して一つひとつを確実に理解していきましょう。
・分からない箇所は友人、先生に質問し理解するよう努力しましょう。また，理解度・習熟度確認のため，小テストを行うことがあります。

2　学習の到達目標

(1)2 年次までに既習である数学Ⅰ、数学 A の内容について、包括的に学び直す中で、その基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)上記の知識、技能を活用して、多様なアプローチもふまえ、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し、判断したりする力を養う。
(3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数理的に考察し処理することや既習事項などを体系的に整理し活用できる。 ・構成した数学的知識の意味を考えたり，見いだした数学的知識をいろいろな場面に活用できる。	・自らの思考過程を振り返りながらより発展的に考え一般化して問題の本質を探ることができる。	・自分の学習を振り返り,向上心をもって粘り強く取り組むことができる。 ・興味関心を持ち，数学的活動に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学Ⅰ 標準演習	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	a: 数と式，図形と計量，二次関数，データの分析についての概念や原理・法則を体系的に理解する。 b:図形の性質や計量について論理的に考察し表現する。関数関係に着目し，事象を的確に表現して，式やグラフを相互に関連付けて考察する。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。	定期考査 小テスト 問題集	定期考査 問題集 ワークシート	問題集 観察
後期	数学A 標準演習	場合の数と確率 図形の性質	a: 図形の性質，場合の数と確率についての概念や原理・法則を体系的に理解する。 b: 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する。不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。	定期考査 小テスト 問題集	定期考査 問題集 ワークシート	問題集 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度